



浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009「ワールドガーデンコンペティション」最優秀プランツコーディネーター賞 クリス・ベアード・ショー (施工:(有)小澤造園)

## 目次

会長挨拶	P2
委員会だより(総務企画委員会)	
新公益法人制度に係る協会の取り組み状況	P3
支部だより(東部支部)	
育成管理指導について	P4
支部だより(西部支部)	
安全ハトロール実施	P4
環境局 地球環境室	
花と緑のボランティア～花の会の活動について～	P5
緑化木・秋の臨時配布を行っています!	P5
環境局 環境ふれあい室	
秋の森づくり 県民大作戦が始まります!	P5
県森林局 森林計画室	
森の力再生事業の紹介	P6
県農林業局 みかん園芸室	
「花咲くすずか」運動県民大会を開催します!	P6
県都市局 公園緑地室	
「一年を通した環境学習、エコ自然塾の紹介」	P7
景観整備機構コーナー	P7

技士会だより	
最近の庭づくりより	P8
離間となった造園施工管理技士をめざして	
～平成21年度造園施工管理技師新検定試験準備講習会～	P8
みんなの広場	
巨樹・名木探訪バスツアーin新潟	P9
おしらせ	
平成21年度 建設産業構造改善推進のつどい	P10
静岡県社会資本整備促進連絡総大会の開催	P10
平成21年度 都市緑化講演会	P10
平成22年新年賀詞交歓会(社)静岡県造園緑化協会	P10
第31回(社)静岡県造園緑化協会通常総会	P10
平成21年度 許可業種及び関連資格取得状況	P11
協会日誌	P11
話題の森	
「植える」から「育てる」へ	
～「さくら100万本運動」を通じて～	P12



(社)静岡県造園緑化協会会長

## 片桐 利男

朝夕はめつさり涼しくなり、爽秋の訪れを感じる季節となつて参りました。

今年も又異常な気象状況で、七、八月の長雨が続いた後は八月に静岡地震が発生し、各地に多くの被害をもたらし、いつ起きるか予測のない自然災害の恐ろしさを思い知らされ、日常の対策と心構えの大切さを今更ながら痛感致しました。

又地震の後には日照りが続き、早魃の様な状態になり、農家の方々には大変な御苦労をされたと存じますが、会員の皆様方に於かれましても樹木植物の散水等例年に増しての作業に追われ、大変な時を過ごされた事とお察し申し上げます。

先般の国政選挙では与党の惨敗で新しい内閣が誕生し、国の方針がどの様に変つて行くのか、我々の業界にも何らかの変化が及ぼされてくるのかは定かではありませんが、ともあれ地球の温暖化防止対策が大きく叫ばれている昨今緑化の果たす役割は大変重要な役割を担っている事に変わりなく、今迄以上に緑化の大切さを広く各方面に訴えて参らねばならないと思います。

私共業界を取り巻く環境は明るい兆しのない大変厳しい状況の中にありますが、これも建設業界に限らず、多くの企業、業界も衰弱している中、生き残りをかけて必死であります。サバイバルとなれば、戦国の武将武田信玄の名言で「人は城、人は石垣、人は堀」の言葉を思い起こされます。非常に軍略に長けていた信玄が信濃に兵を進めていた時のこと、行く手の道が二本に分かれており一方の道には松の木の上に沢山の白鷺が止まっている。だから下には人がいないだろう。「ではその道を進んで行きましょう」との部下の進言を制し信玄は即座に鷹を放した。松の木に止まっている様に見えた白鷺は人を欺く為の作り物で飛び立たず、伏兵を見抜いたと言われます。目先の現象から一喜一憂して判断を誤れば、我が身を滅ぼし勝利への結果も出来ません。その無責任な心が油断と臆病を生む元凶であり、信玄が即断出来た知恵とは不戦不屈の信念から生まれたものと思われれます。

人であれ企業であれ栄枯盛衰は世の常であり、大事なことは苦境に直面したとき、どうこれを克服して行くかであり、順調な時に傲らず万が一に備え一層の努力を怠らぬことであり勝利成功へ向けてどう結果していかれるかこれはいかなる団体企業にも通じる鉄則であると思います。誠に多難な時でありますが大況に負けず判断を誤らず執念を燃やして前進していきたいものであります。

人は支え合つてこそ信頼も生まれ展望も開けてくると思います。今この時こそ私共は全員が一つになって目標に向つて前進していきたいものがあります。

# 委員会だより（総務企画委員会）

## 新公益法人制度に係る協会の取り組み状況

平成20年12月から法律施行された新しい法人制度に対して、当協会は今後の協会の方向性を検討するため平成21年度から具体的な活動をしています。今後会員の皆様にご意見を頂くための説明会を開催することとなりますが、現在の進み具合をお知らせします。

### 〈経過〉

月 日	内 容
平成21年 4月28日	通常総会後に公認会計士を講師に研修会を実施
平成21年 6月11日	第二回総務企画委員会で検討課題の抽出と整理
平成21年 7月 3日	第一回理事会で公益社団法人を目指す方向性を示した。総務企画委員会に対し会員への意見聴取の方法など具体的な作業を指示
平成21年 7月23日	第三回総務企画委員会で会員への意見聴取の方法など審議
平成21年 8月17日	第二回理事会で第三回総務企画委員会の報告を踏まえて会員への意見聴取の方法など審議
平成21年 9月 2日	正副会長、支部長が県主催の新制度の説明会に出席し質疑応答
平成21年 9月16日	公認会計士に既存事業の現状分析を相談
平成21年10月現在	事務局で説明会用の資料(案)を作成中

### 【第二回理事会結果】

会員からの意見の聴取方法等

1 会員からの意見の聴取のやり方について、以下の通り承りました。

- (1) 会員への提供資料はこれまでに提供したものをベースとして配布する。
- (2) 各支部は、会員を対象に説明会を2会場に設定して開催する。
- (3) 説明会には会長、3副会長、専務理事が同席する。
- (4) 説明会場において会員にアンケート用紙を配布し後日事務局に提出する。

2 理事会としての意見

- ・公益社団法人となった場合、既存事業はどうか、また、新しく行う事業はどのようなものがあるかそれぞれ列記し、公益目的事業比率を明示して公益認定基準を満たすかどうかを立証する。
- ・経理的な処理について現状で良いか、また会員の会費についての疑問も合わせて提示する。
- ・これらについては既存の提供資料と合わせて説明会で説明する。

# 支部だより (東部支部)

## 育成管理指導について

〈東部支部長 渡辺 豊(株)富士見園〉

本年度も、県内各地で静岡県グリーンバンクの育成管理指導が行われました。そのうち東部支部では、10箇所3日に分けて行われました。

その中の9月9日に実施した3箇所の育成管理指導についてお話をさせていただきます。

この日最初は、御殿場市の永塚区もみじの里づくり事業を指導させていただきました。この事業は当協会員が施工されたものでは無く、永塚区という自治会が静岡県グリーンバンク創立30周年記念緑化事業で施工されたものです。もみじの里づくり事業は、河川沿いに約1kmに亘りもみじ20本を植栽されており、区民1人1本が管理をしています。したがって、それぞれの本で多少成長が違っていたり、もみじの根元をシバザクラや石を敷いたり、管理はまちまちです。その中で区の役員の方々は、全体の草刈や消毒、肥料の配布を行い、また、管理が悪い木の管理者には、組を通じ管理をすよう

指導しているそうです。この事業を通じて区内のコミュニティ強化に繋がりを、将来はここで、もみじ祭りを行いたいそうです。

次に回ったところは、三島市立西小学校でした。この学校は現在耐震工事の真っ最中でしたので、比較的管理が疎かになっておりまして、門付近と裏の広場にツツジ等が植えられており、門付近は、草取りが定期的に行われてはいるようですが、裏の広場は現在臨時の駐車場となっており、草取りが行われていないため、ツツジの成長が悪い状態でした。

次は、三島市にある梅名ポケット



もみじの里(御殿場市)

パークで指導させていただきました。こも静岡県グリーンバンク創立30周年記念緑化事業で施工したところです。国道と県道が交差する残地に低木が主に植えられていますが、一部の樹種の成育が悪いですが、草取り等の管理が定期的に行われており、きれいになっておりました。

樹木管理は、樹木ができるだけ人の目に触れるようにすることが、基本的に直営で行うことがベストであります。技術的なこと、量的なことなどの直営ではできない場合は、樹木管理の専門家に頼むことが良いことだと思います。樹木管理が適切に行われているとその施設等を利用する人にとっても、施設等の管理者にとっても気分の良いものであります。

この育成管理指導は、施設として自分たちの管理が今までのままでいいのか、どのように管理したら良いのか、管理の方向を不すのしただ良良いことだと感じました。



梅名ポケットパーク(三島市)

# (西部支部)

## 安全パトロール実施

〈西部支部 塚本 明寿(株)庭明〉

八月二十一日(金)協会長立会いの下、西部支部役員及び管発労働委員のメンバー18名と浜松モザイクカルチャーワールド2009(浜名湖立休花博)会場において、会員が施工する作品現場の安全パトロールを実施しました。

作品現場では担当者より安全関係書類等確認し、作業内容について説明を受け、作業方法、状況について確認しました。

今日、建設業における労働災害率は非常に高く、特高所作業現場では死亡事故も多発しています。モザイクカルチャーの作製制作現場は足場を組んでの作業も多く、安全管理を怠ると転落、落下事故の原因になります。今回確認した作品現場では、安全帯の使用率100%と確認して行われていたことは大変嬉し、各社作業員の方々に安全について指導教育されていることを感じました。しかし、当協会員以外の方々の中には、保護相の頸紐非着用や安全帯未使用等がみられました。そのことは非常に残念であり、災害防止のため各社作

業員に限らず、お互いに声掛けをしていただく安全管理に努めていただきたいと願っています。



浜松モザイクカルチャー会場(浜松市フラワーパーク)

また、各資格、免許により作業方法、条件等改定されているものもありますので、有資格者の方々には内容を再度確認し、安全な作業を行っていただきたいと思っております。

当日は遠慮するメンバーも汗が止まらないほどの暑い日のパトロールとなりましたが、その中でどうの作品現場に目が留まりました。その作品には全体に寒冷紗を覆い日よけ対策がされていました。作業員の方々

の熱中症対策と苗の品質管理のために必要なものであると説明を受けました。作業員の健康管理はもちろんのこと、扱う苗も生き物であり大切に



## 県環境局 地球環境室

### 花と緑のボランティア

#### 花の会の活動について

静岡県花の会連合会は、県下三十六市町の五十一団体で構成されています。現在は、会員約二万五千人が、所属する花の会で駅前や公園の公共花壇づくりなどを通じて、花と緑の環境づくりに取り組んでいます。連合会は今年で設立五十二年目となりますが、各花の会には設立当初から活動を続けている方も大勢います。こうした地域の長年にわたる緑化活動が認められ、各花の会には、環境大臣賞、地域環境美化功績者表彰)や静岡県知事表彰(環境保全功労者)など様々な賞を受賞されている会員がいます。本年度は、菊川市花の会会長の戸塚秋太郎氏が環境大臣賞を受賞しました。

にされていたことは、同じみどり屋に抱く者として共感でき、大変嬉しく感じました。最後に浜松モザイクカルチャー世界



環境大臣賞受賞  
(菊川市花の会 戸塚秋太郎会長)

地域を美しく彩る活動を続けていきます。

※各地域の「花の会」では、活動に参加してくれる仲間を募集しています。ホームページであなただけの街の花の会を御覧ください。

- 問合せ先 静岡県地球環境室
- 電話 〇五四一―二二―二八四九
- ホームページ

<http://www.greenbank.or.jp/volunteer/flower/hanankai.html>

博2009が盛大に開催され、成功されることを願います。また今回の実施にあたりご協力いただいた方々に感謝いたします。

### 緑化木・秋の臨時配布を

#### 行っています！

静岡県では、富士百種場及び西部育種場で緑化木(アジサイ、サツキなどを生産し、県内の緑化推進団体等へ無償配布を行っています。

これら緑化木を積極的に活用していただくため、森づくり県民大作戦にあわせ、秋の臨時配布の申し込みを受け付中です。配布対象樹種等についてはお問い合わせください。

- 問合せ先 静岡県地球環境室
- 電話 〇五四一―二二―二八四九



## 県環境局 環境ふれあい室

### 秋の森づくり

#### 県民大作戦が始まります！

「森づくり県民大作戦」は、県内の森づくりに関わる団体・企業・行政などが、力を合わせて地域の森づくりを進める取り組みとして、春と秋の年2回開催しています。県では、森づくり団体等が実施する多くの森づくり関係行事を取りまとめ、県下に広く情報発信するとともに、県民参加の機会を拡大し、参加者の増加を図り、連携の輪を拡げていくことを目指しています。

〔今年の秋の森づくり県民大作戦〕

平成21年10月17日(土)から11月29日(日)までの秋の森づくり県民大作戦の期間中、「森の恵みを育み、活かそう！」をテーマとして、森林を学び体験できる数多くのイベントが開催されます。

11月15日の日曜日には、静岡市内の青葉シンボルロードで、「わたし達にもできる部会からはじめる森づくり」として、日々の生活の中で、森づくりに貢献できることを知ってもらうことを目的とした、シンボルイベントを実施します。

イベントの案内等を記載したパンフレットは、各農林事務所のほか、

県内J・R各駅にて配布しています。また、静岡県環境ふれあい室のホームページにも掲載しています。(しずおか森づくり情報)と検索してください。)

たくさんのお恩恵を与えてくれる森林をよりよい形で次の世代に引き継ぐためには、守り育て、活かすの3つのプロセスを循環させることが大切です。みなさんも秋の森づくり県民大作戦に参加してみませんか！



海岸林での植栽活動風景

県森林局 森林計画室

森の力再生事業の紹介

森の力再生事業がスタートして7年目を迎えています。平成二十年年度末までに森林組合、建設業者、造園業者、NPOなど（以下「整備者」という。）が、約三千四百ヘクタールの森林を整備し、今年度も様々な整備者が「森の力」の回復に向けて事業に取り組んでいます。この事業は、従来の林業生産を前提とした森林整備とは異なり環境面を重視し、失われつつある「森の力（森林の持つ土砂災害防止、水源かん養等の働き）」を早期に発揮する森林へと誘導することを目的としています。

事業を実施した森林の所有者からは「環境保全に対する関心が高まる中、私たちが納めた税金がこうした事業に活用されることは大変価値のあること」といった声も寄せられています。

貴協会員の皆様周辺にも、事業の対象となっている森林の所有者がいらっしゃるかも知れません。今後、皆様がその方々に事業実施を働きかけ、整備者として参画してはいかがでしょうか。関心のある方は、最寄りの県の農林事務所森林整備課にお尋ねください。



整備後3年目



整備前

県農林業局 みかん園芸室

♪「花咲くしずおか」運動県民大会を開催します♪

花と緑にあふれた美しい静岡県づくりを推進する「花咲くしずおか」運動の一環として、平成21年11月18日（水）にグランシップにおいて、花咲くしずおか運動県民大会を開催します。

「花咲くしずおか」運動県民大会では、全国の花のまちづくりに関する講演やフラワーデザイナーによる花装飾のデモンストレーション、静岡県産花きの展示のほか、「花咲くしずおか」花いっぱいコンクールの表彰式をおこないます。

「花咲くしずおか花いっぱいコンクール」には、県内から112点の応募があり、書類審査の結果、西伊豆町立置茂幼稚園のほか、4者が最優秀賞を受賞しました。

県民大会では、最優秀賞受賞者をはじめ、入賞した50点の作品を展示いたします。

当日は花の種のプレゼントや抽選によるお楽しみもありますので、皆様ぜひお越しください。



《コンクール最優秀賞一覧》

部門	団体名、氏名(敬称略)
学校の部	西伊豆町立置茂幼稚園
職場・地域の部(面積200㎡未満)	磐田市花の会磐田支部
職場・地域の部(面積200㎡以上)	牧之原市花の会
個人の部(面積20㎡未満)	野 京子(浜松市)
個人の部(面積20㎡以上)	杉浦 かよ子(浜松市)

《「花咲くしずおか」運動県民大会》

●日時 11月18日(水)  
13時15分から16時30分

●場所 グランシップ11階  
会議ホール風  
(最寄駅 JR東静岡駅)



牧之原市花の会の花壇



杉浦かよ子さんのお庭

## 「二年を通じた環境学習、エコパ自然塾の紹介」

小笠山総合運動公園といえば、みなさんにとっては、まずエコパスタジアムという印象が強いかもしれませんが、小笠山総合運動公園は、エコパスタジアムの背側に広がる、緑豊かで広大な小笠山に囲まれた、自然がいっぱいの公園です。そのエコパの緑豊かなフィールドを活かした「エコパ自然塾」は、一年を通して親子で学んでいく、エコパ流のびのび自然体験学習塾です。



お茶摘み体験

自然環境に対する意識が高まってきている現在、各地で様々な自然教室が開催されるようになりました。それぞれに特徴があり、いろいろなプログラムが用意されています。その中で、平成19年から始まった「エコパ自然塾」は、エコパの自然を教室に、一年を通して生物の変化や自然の移り変わりを体験していくことが最大の特徴です。



夜の昆虫観察



ピオトープ池のかい掘り

年間8回程度の活動日を設定し、自然を楽しむことを通じて、自然に対する傷しい心と感謝の気持ちを抱いていきます。

年間のプログラムには、シイタケの菌うちやお茶摘みの体験、間伐体験、時には夜の活動もあります。もちろんカブトムシやクワガタなどの昆虫教室もあり、毎回、その道の専門の講師や

学生のリーダーとともに自然の仕組みや楽しみ方を学んでいきます。回を重ねるごとに、自然とふれあう子供たちの活き活きとした笑顔が輝いていきます。

このほかにもエコパでは、春には「ファミリーウォーク&オリエンテーリング」、夏・秋には「わんぱ

く自然教室」、冬には「春よ恋まつり」等、エコパの自然を年間を通じて楽しんでいただけるイベントがあります。みなさんの来園をお待ちしています。

みなさん、お気軽にエコパを御利用ください！

## 景観整備機構コーナー

今年度の実施計画に添って協会本部が行ったこれまでの事柄をお知らせします。これ以外に実施した各支部の実績については次号以降にお知らせします。

項目	内容
みどりの相談所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜名湖フラワー&amp;ガーデンフェア2009の相談所開設(5月 ガーデンパーク9件)</li> <li>・協会事務所における緑化相談(4月以降5件)</li> </ul>
識者派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市景観審議会委員推薦</li> </ul>
調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市景観形成に資する「壁面緑化モデル事業」準備に着手</li> </ul>
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催時に「緑あふれる生垣づくり」「四季の花づくり」などの資料を配布して、関心・興味・試行・実践へのきっかけづくりを行った。</li> </ul>

# 技士会だより

## 最近の庭づくりより

静岡県造園施工管理技士会会長

望月敦彦(元野園芸株)

7月上旬、当社よりすぐ近くの家から庭園を改造する注文がありました。作庭して50年位との事です。庭石(景石)が多く樹木も繁り手入れも行き届いておりませんでした。施主の注文は家の中から庭に降りてみたくなる様な庭を作ってくださいとの事です。

そのお宅の庭は富士山、富士川の流れが間近に見え、遠くには伊豆半島が見望する極めて眺望の良い庭です。

改造にあたり、最初は想像力が及ばず自分の非力を痛感しました。よくよく施主の話を聴いているうちに施主が癒される庭を注文しているのに気付き、一気にイメージする園面が頭の中に広がりました。あまり気張らずに自然に

湧き出る水を想像しました。

雑木林の中より湧き出る水を竹の「こい」を通じて自然石に受ける一連の流れを配し、富士川に流れ下っていくことを想像させる手法です。下草は山野草のみで群落をつくり手前に延段を作り青竹をあわせました。(写真参照)

7月末に完成して施主に喜んでもらいホッとしました。沢の流れの音も心地よく私も安心しています。心配なのは雨が降らず樹木の状態があまり良くななく、この夏を無事に越えるかが心配です。

管理の面において今年ほど夏が短かったものの暑い日々が続いたこのような夏は最近なかったのではないかと思います。雨が少なく、方々で野菜



造園施工管理技士の資格を目指して平成21年7月11日、12日の二日間静岡県産業経済会館で7名の方々が今年度も真剣に受講した。

これはその造園施工管理技術検定の一級実地試験合格者を見てもまずと平成20年度は一級が25.2%、二級が38.5%。依然厳しい難関です。6年前の平成15年度の一級が71.9%、二級が80.8%と比べてもいかに難しくなってきたかがうかがえます。工事受注に当たって技術者の保有状況が評価の重要な位置づけとされている現在、優秀な技術者、技能者は欠かれない状況となっています。技士会では少しでも技術者の絶対数を増加することを目的としてこれまで試験準備講習会を毎年実施しております。来年度からは受講者が5人未満となつ

や果樹、又街路樹が傷んでおります。少しぐらいの灌水では焼け石に水の状態が続いた今年には特に気を使いました。灌水については、最近ではタイムスイッチ付きの自動灌水装置が安価で手に入ります。水道直結で乾電池3個で一年間継続します。これを使うと枯補償の心配もなく、当社では公共や個人庭園に役立っております。やはり、完成後の管理は最も重要ではないかと思

た時はその年度は中止するにとしました。今後とも会員の皆様の積極的なご参加を願っています。



ます。

区分	受験者数
全体	7
会員	7
非会員	0
一級受験者	3
二級受験者	4



# みんなの広場

## 巨樹名木探訪バスツアー in 新潟

事務局長 山崎 巖

当協会が加入している、静岡県巨樹と森林文化の会が毎年企画実施している巨樹・巨木探訪ツアーに初めて参加した。全行程1500kmのバスでの移動はかなりの体力もいるが対面する巨樹への期待に心躍る気持ち勝ち苦痛はなかった。

私の出身地は新潟県の市内であるが静岡岡手に就職するまでのわずかな期間を過ごしたただである。県内の各所要所は地図の上の点での認識しかなく、県内をくまなく移動する線の旅行は初めてであり私にとっては極めて楽しみ旅となった。巨樹に興味を抱くようになったのは静岡岡手に来てからである。森林・林業関係の職に就いて県内各地の歴史・伝承を秘めた古木に遭遇してからである。古来、土地の人に愛され、又信仰の対象として崇められ永く守り守られてきた古木に対する土地の人の心が誘われてくれたものと思っている。6箇所を回ってきたがその内の幾つかを振り返ってみよう。

婿ケヤキ(西蒲原郡弥彦村弥彦)  
海岸沿いに双コブほど連なる弥彦山のみもとに位置し、越後一ノ宮



婿ケヤキ

と称せられた弥彦神社のすぐ傍にある。このケヤキは樹高30m、幹周9.5m、推定樹齢800年で県の天然記念物となっている。幹の根元に小さな佳吉神社が押しつぶされうにひっそりとおる。どちらが主体なのか分らない様子である。木の由来となつては、頭はまさに海の名の由来となつた。8本あるべき足は腐朽して3本欠け、5本となつて天に伸びている。治療された跡もみられるが樹勢は旺盛、土地の方々の暖かい支えが伝わったようだ。弥彦温泉街の一角にも位置することから温泉に浸つて癒された心で見上げ感

動した観光客は数知れずいた事だろう。大樹はこれからも神社と温泉街の行く々々を見続けることだろう。

三川の將軍スギ  
(東蒲原郡阿賀町岩谷 旧三川村若津(若谷))

県の北部に位置する阿賀町に巨大なモノユメントのように威容を誇つてそびえ立つ。

樹高38m、幹周19.3m、推定樹齢1400年。昭和2年国天然記念物に指定されている。この將軍スギは幹周りを計測し直して現在縄文スギを扱って日本一のスギの巨樹であるという。根元付近から5本の枝のそれぞれが幹のようになつて、ほぼ垂直に天に昇つて台スギの様子を呈している。まるで巨大な水牛の角のようにも見える。樹の周囲には木道の両サイドに手摺りのついた立派な遊歩道が造られており、



三川の將軍スギ

内側に入れないようにして根回りを保護している。あちこちに治療の跡が見られ手厚い介護を受けている。ぐるぐる一周したがる声も出ない。巨木に圧倒され息苦しくさへ感じられる。たずむと何か神が宿つており思わぬ掌を合わせたくなるような気持ちになつてくるのか。樹が持つ威厳さからなるのだろうか。將軍の名称はこの地に晩年をすごした陸奥鎮守府将軍平維茂の石碑があることからだといふ。

### 瀧川神社の大ケヤキ

(柏崎市新道(んどらう))

県の海岸線を南下した位置に9万2千人の柏崎市がある。そのやや南側に新道の瀧川神社がある。神社境内を所狭しと中央に座しているのが樹高20m、幹周9.7m、推定樹齢1000年のケヤキの巨樹。昭和5年に国の天然記念物に指定されている。威風堂々とした幹には太い化粧結びのしめ縄をつけている。樹高が20mと低いのは2度の台風に見舞われ、腐食してきたため切除し主幹の上部が失われたためだといふ。今では、主幹の最上部には屋根付きの覆いがかけてあり、雨水の進入を防いでいる。地際近くには数本の枝が生えており、それが次の世代に幹として生長するものと思つたとその生命力に圧倒される。台風被害を受ける前



瀧川神社の大ケヤキ

は集落のシンボルとして、さぞかし四方の遠方からも良く見え、その威容を誇つていたことだろう。根元周囲にはかなり広く歩道が整備され、踏み込みを防止して樹を保護しているためか樹勢は衰えを感じさせない。しめ縄の美しさと樹勢を見るとき樹に寄せると人の愛情が強く感じられる古木である。

### 薬師寺の大カツラ

(南魚沼市(旧南魚沼郡越後町)君沢)

この薬師寺は1045年創立と伝わる真言宗の古刹。越後88箇所霊場の88番目の札所でもあるといふ。大カツラは参道の階段を登り切る直前の右手の石垣を抑え込むようにそびえている。昭和48年県天然記念物に指定された。樹高30m、幹周13.5m、推定樹齢は諸説あるようだが1780年に本堂が焼けた時に類焼し、その後萌芽し

たヒコ生えが生長したものだとして約230年程になる。まず、その生命力に驚かされる。仏の心が樹に宿っているようで、しばし幹に手を当て感慨にふける。階段、カツラを街路樹や山の沢沿いに生えている程度の樹しか見ていない私にとって、地際から数十本の株立ちのように吹き上げて竹箒を逆さまにしたような物はおよそ想像がつかなかった。秋には黄金色の樹葉が青い天空に映え、その景色は見事というほかはないだろう。



業照寺の大カツラ

虫川の大スギ

(上越市浦河原区(旧東頸城郡浦河原村)虫川)

このスギは白山神社の御神体で昭和12年に国の天然記念物に指定されており、樹高30m、幹周り10.6m、推定樹齢1000年といわれる。一目見て「大暴れの武士(への)



虫川の大スギ

のふしを想像してしまつた。実に躍動感溢れる大スギである。高さ5m位のところから太い枝が下へ向かって伸びているかと思えばその上の枝はいきなり垂直に上に向かって伸びきっている。他の枝と言えは四方八方へ自由奔放に広がる様子はこれまで見てきた古木と異なり、見ていると自然に元気が湧いてくる不思議な巨樹であった。また、全体を眺るとバランスがとれている。自然の造形美とはこういうものなのかもしれない。根の周りには半径4mほどの円形の木道が巡らされているが、何か申し訳程度にあるとしか感じられない。いかに樹が巨大であるかがうかがえる。



## お知らせ

### 平成21年度 建設産業構造改善推進のつどい

と き：平成21年10月29日(木) 13:00～

と ころ：静岡労政会館 6階ホール

内 容

- 静岡県優秀施工者知事褒賞授与式  
太田 雅夫氏((株)浮月園)
- 講演会  
「建設業若年者確保・育成のカギ」  
講師：富士教育訓練センター 菅井 文明

### 静岡県社会資本整備促進総決起大会の開催

と き：平成21年11月5日(木) 13:30～

と ころ：「グランシップ」静岡市駿河区

内 容(予定)

- 第一部 講演会
- 第二部 意見発表等
  - 総合工事業者代表
  - 専門工事業者代表
  - 決議文

### 平成21年度 都市緑化講演会

と き：平成21年11月22日(日) 13:30～

と ころ：静岡県産業経済会館(静岡市葵区)

内 容

- 「自然観察の楽しみ方」  
近田 文弘博士(国立科学博物館名誉研究員)
- 「地域に根ざした植物方言」  
野口 英昭氏((株)インプル 顧問)



### 平成22年新年賀詞交歓会(社)静岡県造園緑化協会

と き：平成22年1月15日(金) 12:00～

と ころ：「クールホール会館」静岡市葵区

内 容(予定)

- 被表彰者の顕彰  
国文省大臣顕彰  
静岡県知事褒賞
- 賀詞交歓及び懇談

### 第31回(社)静岡県造園緑化協会通常総会

と き：平成22年4月28日(水) 13:30～

と ころ：「クールホール会館」静岡市葵区

内 容(予定)

- 平成21年度事業報告・収支決算
- 平成22年度事業計画案・収支予算案
- 役員改選 等

## 平成21年度 許可業種及び関連資格取得状況

会員の皆様のご協力により保有する資格者数がまとまりましたのでお知らせします。

今後、民間の認定資格もふくめ、各社の客観的能力を表す指標が重要性を増すこととなるように思われます。各社の技術力アップのため参考にして頂ければ幸いです。

(社)静岡県造園緑化協会

区 分	造 園	土 木	建 築	と び	石 工	管 工	舗 装	監 理 技 術 者	造園施工管理技士		土木施工管理技士		造園技能士		街 路 樹 剪 定 士	植 生 基 盤 診 断 士	基 幹 技 能 者	樹 木 医
									1級	2級	1級	2級	1級	2級				
									東 部 特 定 一 般	33 6 27	25 6 19	2 1 1	24 6 18	8 0 8				
中 部 特 定 一 般	41 10 31	37 9 28	4 2 2	30 9 21	19 5 14	7 1 6	17 1 10	125	155	86	105	76	38	31	28	3	1	6
西 部 特 定 一 般	36 12 24	30 9 21	6 2 4	26 8 18	14 6 8	3 0 3	13 6 7	107	116	95	60	73	40	48	25	5	2	1
計 特 定 一 般	110 28 82	92 24 68	12 5 7	80 23 57	41 11 30	12 1 11	36 14 22	277	343	227	203	198	119	117	63	9	10	8

## 協会日誌

年月日	行 事 又 は 会 議	年月日	行 事 又 は 会 議
平成21年		9月 4日	美しいしずおか景観推進協議会景観賞第1回現地調査
7月 23日	総務企画委員会	9月 14日	美しいしずおか景観推進協議会景観賞第2回現地調査
7月 27日	正副会長会議	9月 18日	美しいしずおか景観推進協議会景観賞第3回現地調査
7月 30日	技術委員会	9月 28日	シニアワーク造園緑化講習会(富士会場)開講式
8月 11日	美しいしずおか景観推進協議会景観賞書類審査	10月 5日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
8月 12日	第2回景観実務講習会(富士市)	10月 6日	美しいしずおか景観推進協議会景観賞第4回現地調査
8月 17日	第2回理事会	10月 15日	シニアワーク造園緑化講習会(島田会場)開講式
8月 24日	シニアワーク造園緑化講習会(静岡会場)開講式	10月 16日	浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009実行委員会
8月 25日	会報編集会議	10月 20日	第3回景観実務講習会(静岡市)
8月27日～ 9月 9日	育成管理巡回指導調査	10月 23日	静岡県建設業労働災害防止大会
9月 2日	新公益法人制度に係る説明会(県庁)	10月 29日	第4回(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
9月 3日	浜名湖フラワーフェスタ幹事会	10月 29日	静岡県建設産業構造改善推進のついで



ソメイヨシノに蔓延するテングス病

静岡県さくらの会

## 「植える」から「育てる」へ ～「さくら100万本運動」を通じて～

静岡県さくらの会が中心となり、昭和48年から平成4年までの20年間にわたり「さくら100万本運動」が県民総参加の緑化運動として展開されました。多くの皆様の御協力をいただき県内各地に新たな桜の名所が数多く誕生いたしました。

この運動で、県内にも多く植えられたソメイヨシノは「サクラてんぐ巣病」に罹りやすく、①周辺の桜に伝染すること、②放置すると桜が枯死すること、③成長とともに防除が困難となること、④感染すると花が咲かなくなり見映えが悪くなること、などから近年では特に問題が大きくなっています。

### サクラてんぐ巣病

病原菌はタブリナ菌というカビの一種で、病気になる枝についた小さな病葉の裏側につくられた胞子が飛散し伝染していきます。胞子は霧や雨水に混ざって広がるといわれています。

感染した枝では、枝の一部がふくれコブ状になり、この付近から小枝が鳥の巣状にたくさん出て、花が咲かなくなります。感染した枝は数年で枯れてしまいます。

病気の枝をそのままを放置すると樹全体に蔓延し、樹勢が衰弱し、やがて枯れてしまいます。

### 防除方法

防除方法は落葉期間中に病葉部を切除するしか有効な対策はありません。また、枝の切り口には、傷口の保護材を塗布し、腐朽菌進入を防ぐ対策が必要です。一度の除去作業では取り残しなどがあるため、最低3年間は継続して除去作業を行うことが重要です。

### その他の対策

新たに桜を植栽するときは、周辺にこの病気に罹った桜がある場合には同じ品種を避けることや、病葉部の切除作業ができない場所には植えないこともひとつの方法です。

当会としては、「さくら相談員派遣事業」や「さくら保護士等講習会」等桜を育てる事業に取り組んでいます。前述のサクラてんぐ巣病の防除等、桜を大切に育てていくことで地域の桜資源を充実し、多くの皆様に桜を楽しんでいただけたら本当の意味での「さくら100万本運動」の目的が達成すると考えます。

静岡県さくらの会